

研究構想シート

学校名

奥出雲町立高尾小学校

氏名

糸賀 康弘

A 研究主題 「ふるさと高尾のすばらしさを言語化できる児童の育成」
～ 高尾のひと・もの・ことを知る学習を通して ～ 5年次

B 研究の目的 児童の興味関心を大切にして、高尾のひと・もの・ことを知る学習を実践することにより、『ふるさと高尾』のすばらしさを言語化でき、『ふるさと高尾』を大切に思う児童を育てる。

C 子どもの実態
 ・児童数が年々減少し、令和6年度は児童数3名、学年1名ずつの極小規模校になった。
 ・大人数で意見を交換し合う体験が少なく、年長者の意向や従前のやり方等に従う傾向にあった。
 ・人前で話す経験や表現力が不十分なため、落語やスピーチなどの活動を重ねてきている。
 ・『ふるさと高尾』での暮らしや環境をごく当たり前のこととして捉えており、改めて見つめることができていなかった。
 ・本年度未開校に伴い隣の小学校と統合する。

E 手立て・内容 (研究仮説)
 児童の興味関心を大切にして、高尾のひと・もの・ことを知る学習を実践すれば、『ふるさと高尾』のすばらしさを言語化でき、『ふるさと高尾』を大切に思う児童が育つであろう。
 ・高尾のひと・もの・ことに意図的に関わっていくことにより、ふるさとへのすばらしさを他者に伝えたいという思いをもち、様々な方法で表現することができるようにする。

D めざす子どもの姿
 ・自分の考えを自分なりの方法で表現できる子
 ・『ふるさと高尾』のすばらしさを言語化できる子

F 検証方法

- ふるさと学習の取組み。
- 1 児童みんなに関わる学習 (親子運動会、高尾っ子祭り)
 - 2 学級ごとに関わる学習 (各学年に合わせたテーマ、ふるさと学習発表会)
- 話し合いの体験経験の重視。
 ・児童会活動の場で(ねらいに沿った話し合い。共通点・相違点を意識した話し合い。公正公平で建設的な話し合い。)
- 学習成果の発表。
 ・様々な方法で表現する。(親子運動会、高尾っ子祭り、ふるさと学習発表会)

G 研究計画

- 5月中旬 …… 高尾っ子アンケート
- 委員会活動やPTA行事を活用して地域と連携した実践にいくつか取り組む。
- 高尾っ子祭り(地域と一体になった祭り。)
- 12月学習公開日(児童の姿を通しての成果発表。地域の方までを含めた学習公開日。)
- 2月 …… 実践集録作成